



春の訪れに梅も人も歓喜

梅の里梅まつり

3月4日～26日 梅の里

紅梅や甲州小梅など満開になった約3,800本の梅が小高い丘を華やかに染め上げました。期間中の18日・19日には出店で梅の里の梅を使ったゼリーや梅漬けなどを販売、多彩なイベントも行われました。丘の上の東屋では甘酒も振る舞われ、観梅のお客さんに好評でした。

新市誕生1年を市民が祝福

新津山市発足1周年記念イベント

2月28日～3月5日 中心商店街ほか

2月28日は、昨年の市町村合併で新津山市が誕生した日。その1周年を祝う取り組みを「つやま市民活動センター」が行いました。各地の主要な交流施設で紅白もちを配ったほか、温泉入浴料やアイスクリーム、コーヒーの割引を行い、祝福ムードを盛り上げていました。



♪お内裏さまとおひなさま “商店街で” すまし顔♪

津山雑物語

3月3日～4月3日 中心市街地

家に眠っている雛人形を商店街などの店先に飾り、道行く人に見てもらい取り組みが市民グループの呼び掛けで行なわれました。約130店に飾られた人形の中には70年前に作られたものもあり、足を止めて見入る買い物客の姿が見られました。

この取り組みは、城下町ではぐくまれてきた雛人形の文化を知ってもらおうと8年前から始められました。



よみがえった古代ロマンス

ミュージカル黒媛物語

3月5日 勝北文化センター

勝北地域に伝わる黒媛^{ひめ}伝説をもとに作られた市民ミュージカル。出演から大道具まで市民による手作りのこの公演も、今年で5回目となりました。合併後初めてとなった今回は新津山市全域から出演者やスタッフとして約100人が集まり、会場を埋めた観客を古代ロマンスの世界へと引き込んでいました。



今月の

フラッシュ

津山産の食材をどうぞ!

津山市地産地消センター

「サンヒルズ」オープン記念イベント

3月18日・19日

津山産の農林産物を普及し「地産地消」を進める拠点施設「津山市地産地消センター」がグリーンヒルズ津山に完成し、そのオープン記念イベントが開かれました。イチゴをはじめとする地場産の商品を買い求める多くの人で、店舗内は常に満員状態。2

日間で約2,000人が足を運びました。國藤康代さん（上河原）は「たくさん品物があって新鮮で安い。生産者の名前が入っていることも安心感を与えてくれます」と喜んでいました。

4月23日（日）までは毎週土・日曜日、それ以降は毎日営業しています（火曜日は定休日）。

◀来館者には豚汁や甘酒の無料サービスも